

## 新型コロナウイルス感染症 患者対応に関する倫理指針

新型コロナウイルスの流行が深刻化する中で、当院は感染患者対応、感染拡大の防止や対策を講じています。この状況下において患者さんのみならず診療の最前線に立つスタッフにも多大な心理的・身体的負担を掛け、倫理的葛藤を抱えています。当院として地域医療への貢献を最大限果たすべく、以下の倫理指針を示します。

1. 地域医療での役割を果たすため、限られた医療資源の中で最善な医療提供体制を整えます。
  - 1) より多くの患者さんが医療による恩恵や利益を受けることができるように、医療資源を優先的に提供します。
  - 2) 地域の全ての方々に分け隔てなく、適切な医療が提供されるように対応します。
2. 常に最新情報を得、新たな知見を含め科学的根拠に基づいて適切な対策を取ります。
3. 患者さん・御家族への対応は説明責任と透明性を担保します。患者さんの自己決定を尊重し、誠実に対応します。
4. 医療従事者の安全性を確保します。

医療従事者が新型コロナウイルスに感染する可能性があり、安全性の確保が必須です。継続的に医療を提供できるよう医療従事者の安全確保を念頭に置き、治療や看護を実施します。
5. 個人情報を保護します。

新型コロナウイルス感染症に対する偏見や差別を防止するため、個人情報の保護を徹底します。
6. 安心して患者さん・御家族が治療を受け、職員も職務を果たすことができる環境を整備します。
  - 1) 徹底した感染防止対策をとることにより、患者さんが安全に治療を受けられる環境を整えます。
  - 2) 職員は生活への支障の危険に脅かされながらも医療従事者としての使命を担い、業務に携わらなければならない状況にあります。職員のモラルやモチベーションが低下しないよう配慮します。
7. 患者さん・御家族・職員の不安に対応します。

医療現場では常に心理的・倫理的な葛藤が生じ、不安等の精神的ストレスが発生します。そのような特殊な状況下におかれた患者さん・御家族・職員の精神的負担を軽減するための対策を講じます。
8. 地域の方々に安全な医療環境を提供するための協力体制を構築します。

当該医療圏における安全な医療環境の構築に向け、行政および関係機関との連携を強化します。